

平成27年度「十七字のふれあい事業」表彰の伝達式

- 日時 平成28年1月7日（木） 午後3時～
- 場所 県北教育事務所 相談室



有賀所長と記念撮影

福島県教育委員会による「十七字のふれあい事業」表彰で、優秀賞に輝いた伊達市立栗野小学校3年の太田大輝さんと母親の太田恵子さん、佳作となった大玉村立玉井小学校1年ののうちかいせいさんと母親の野内智子さんの二組へ賞状の伝達を行いました。

この事業は、子どもと家族、子どもと地域の大人、子どもと子どもなど、家庭や地域の人と人のかかわりの中で感じた思いや願いなどを十七音で表現し「絆」を深めることを目的として実施しています。

優秀賞

かためでも

母のおにぎり
おいしいよ

大輝

頑張れと

力が入る
ひとにぎり

母
太田
恵子

佳作

たからもの
かいでつくった
ぺんだんと

大玉村立玉井小学校
一年のうちかいせい

貝拾い
喜ぶ姿が
宝物

母
野内
智子

＜太田大輝さんと太田恵子さんの作品＞

どのおにぎりよりも一番おいしいのがおかあさんの作った少しかためのおにぎり。大輝さんは、お母さんの愛情のこもったおにぎりが大好きなので、作品にしました。

何事にも一生懸命な大輝さん。そんな大輝さんを応援するおかあさんのおにぎりを握る手にもつい力が入ってしまうそうです。少しかためでもおいしいと食べてくれるのがうれしくて、作品にしました。

＜のうちかいせいさんと野内智子さんの作品＞

拾った貝をやすりで一生懸命に磨いたかいせいさん。ぴかぴかに輝いた貝を見て、とてもうれしかったそうです。そのことを作品にしました。

昨年、かいせいさんは病気で幼稚園を長く休んでいたそうです。家族旅行で行った海。大喜びで貝をさがしているかいせいさんの様子をとてもうれしく思い、作品にしました。

最優秀賞の表彰は、1月6日（水）に杉妻会館で行われました。（表彰式の様子は、福島県教育庁社会教育課ホームページでご覧いただけます。）

十七字のふれあい事業には、県北域内から3, 103組の応募があり、県全体で38, 594組ありました。たくさんの御応募ありがとうございました。